

証券コード 3993

2020 年 12 月 22 日

株 主 各 位

東京都文京区本郷二丁目 3 5 番 1 0 号
本郷瀬川ビル 4F

株式会社 P K S H A T e c h n o l o g y

代 表 取 締 役 上 野 山 勝 也

第 8 期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第 8 期定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項
1. 第 8 期（2019 年 10 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第 8 期（2019 年 10 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日まで）計算書類の内容報告の件

本件は、それぞれの内容及び監査結果を報告いたしました。

決議事項

第 1 号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員会設置会社移行のため監査等委員会及び監査等委員に関する規定の新設並びに監査役会及び監査役に関する規定の削除等、所要の変更を行い、併せて監査役の責任免除の規定削除に伴う経過措置として附則を設けました。

第 2 号議案 監査等委員でない取締役 4 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員でない取締役として、上野山勝也氏、中田光哉氏、水谷健彦氏、吉田行宏氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、水谷健彦氏、吉田行宏氏の両氏は社外取締役であります。

- 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役として、藤岡大祐氏、下村将之氏、佐藤裕介氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、藤岡大祐氏、下村将之氏、佐藤裕介氏の各氏は社外取締役であります。
- 第4号議案 監査等委員でない取締役の報酬等の額決定の件
本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員でない取締役の報酬額の額を年額100,000千円以内と定めることが決定されました。
- 第5号議案 監査等委員である取締役の報酬等の額決定の件
本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役の報酬額の額を年額30,000千円以内と定めることが決定されました。

以 上

「監査等委員会設置会社」への移行について

第8期定時株主総会において、定款一部変更の件が原案どおり承認可決されましたので、当社は、「監査等委員会設置会社」へ移行いたしました。従来の監査役、監査役会に代えて、法定機関として、過半数の社外取締役で構成される監査等委員会を設置いたしました。

なお、本総会終了後に開催した取締役会において、代表取締役に上野山勝也氏が再任され就任いたしました。これにより、当社役員の新体制は、2020年12月22日現在、次のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

代表取締役	上野山勝也
取締役	中田光哉
取締役	水谷健彦
取締役	吉田行宏
取締役（監査等委員）	藤岡大祐
取締役（監査等委員）	下村将之
取締役（監査等委員）	佐藤裕介

(注) 水谷健彦氏、吉田行宏氏、藤岡大祐氏、下村将之氏、佐藤裕介氏の各氏は社外取締役であります。

以上

(参考)

第8期 定時株主総会 質疑応答要旨 (質問数: 9 件)

質 問	山田取締役が退任する件について、その背景や今後の体制への影響について教えていただきたい。
回答者	議長
回 答	執行役員制を導入し会社の組織体制も整えられてきたことを受け、山田氏本人から技術者としての業務に注力したい旨の申し出があり、退任となった。山田氏は退任後も当社グループに技術フェローとして所属し、技術・特許・知財といった分野に尽力いただく。

質 問	パークシャの強みが何か教えていただきたい。
回答者	議長
回 答	強みの1つ目として、アルゴリズムを開発する技術者を多数擁していることであり、国内で有数の規模であること、2つ目に、DX やデジタル化・クラウドサービス化が進行する不可逆な流れの中で、当社はそれに不可欠な知能化技術の分野において先行者として有利なポジションを確保できていることである。長期的に市場成長率よりも高い成長を目指すのを基本的な考え方としている。

質 問	連結での営業利益の低下の要因はなにか？
回答者	議長
回 答	1つ目に、将来成長を実現するための先行投資を実施していること、2つ目に、アイテック社を買収し連結したことによるものである。どのタイミングで営業利益の額を追求すべきかは経営陣で慎重に議論を重ねており、その結果として現時点では投資を加速して行くべきであると判断している。企業価値の最大化を目指して、意思決定と経営判断を行ってまいりたい。

質 問	先行投資の成果を回収するのはいつ頃になるのか、以前開示した計画に変更はあるのか？
回答者	議長
回 答	先行投資の計画には変更はない。2024 年 9 月期において投資の回収を目指す従前の方針にも変更はない。

質 問	平均勤続年数が 2 年と短いのはなぜか。
回答者	議長
回 答	当社は新入社員が多いため、全社で平均すると数字上は短く見える結果となる。

	一方で、離職率は低い状態であると認識している。
--	-------------------------

質 問	今後の成長戦略を教えてください。
回答者	議長
回 答	3 軸での事業戦略を推進している。第 1 に、アルゴリズムモジュールの開発を強化し、新たなモジュールや、モジュールの精度を更に向上させることでソリューションの提供を拡大すること。第 2 に、先ずは日本の大企業に重点を置いてライセンスを提供していくこと。第 3 に、アルゴリズムモジュールのビジネスモデルやマネタイズを変化させていくことである。第 3 の戦略は現時点で第 3 段階まで到達している。第 1 段階は従来から展開している企業向けにアルゴリズムをセミカスタムで提供する「アルゴリズムソリューション」の事業、第 2 段階は各種機能をパッケージして販売する「アルゴリズムソフトウェア」の事業である。第 3 段階は、一部オペレーションまで垂直統合するモデルであり、アイテック社を買収し展開している。同社は国内 10 万箇所に IoT センサーデバイスを提供しており、このセンサー部分から日常の業務プロセスまでを当社アルゴリズムで垂直統合するビジネスモデルとなっている。

質 問	株価が昨年から下落しているが、納得できる水準であるか、実態に沿っていると思うのか伺いたい。
回答者	議長
回 答	株価に関しては真摯に受け止めたいと考えている。我々がやるべきことは企業価値を上げる、そのためにより事業を強くしていくことであり、先行投資の回収フェーズまで着実に進み成果に結びつけたいと考えている。

質 問	先行投資を進めているとのことだが、現預金は増加している。投資はどのような状況なのか？
回答者	議長
回 答	投資は着実に進んでおり、エンジニア人員の採用や、新たなアルゴリズムの開発などといった分野に投下している。このなかで実際に収益が上がり始めているプロダクトもあり、またいくつかの取組も並行して事業検討している途上である。

質 問	競合のように見える会社もいる中で、市場の何%程度のシェアを取りたいと考えているのか？
回答者	議長
回 答	具体的な数値を開示することは控えたいが、日本のソフトウェアの市場において、既存のソフトウェアが未来のソフトウェアに置き換わっていくというメガトレンド

	ドの中で、当社が着実に価値あるプロダクトを生み出していくことが競争上のポイントとなると考えている。
--	---